

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第1回 No. 2 駅周辺まちづくり協議会
開 催 日 時	令和8年9月5日(土) 9時30分～11時30分
開 催 場 所	武蔵村山市役所本庁舎4階 中部地区会館 402学習室AB
出席者及び欠席者	出席者：藤野委員長、西原委員、紙田委員、熊坂委員、小西委員、小林委員、高橋委員、滝本委員、峰岸委員、谷戸委員 欠席者：竹渕委員 事務局：沿線まちづくり課長、同課計画係長、同係主任、同課調整係長 開催運営支援：株式会社フジヤマ
報 告 事 項	① 協議会設置の趣旨等 ② 地区のまちづくりの方向性 ③ 地区の現況 ④ その他
議 題	① 副委員長の選出 ② 会議の公開について ③ まちづくりに対する意見（期待、不安、留意点等）
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題①について 副委員長に西原委員を選任した。 議題②について 会議の公開に関する取扱いについては、事務局案のとおりとする。 議題③について 協議会の趣旨やまちづくりの方向性について確認した上で、まちづくりに対する意見交換を行った。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) 〔凡例〕 ◎委員長 ○委員 ●事務局 (市) ■ファシリテーター (株フジヤマ)	議題① 副委員長の選出 ◎ No. 2 駅周辺まちづくり協議会の副委員長の選出に関して、事前に事務局から提案があった西原委員を副委員長に指名する。 ○ 異議なし 議題② 会議の公開に関する取扱いについて 【事務局説明】 ● 資料1及び2に基づき説明 【意見、質疑等】 ● 事務局としては案のとおり本協議会を公開したいと考えている。 武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針に基づき、本協議会の公開の可否と、公開することとなった場合の詳細について決定したい。 ◎ 事務局案に対して意見はあるか。 ○ 異議なし ◎ 事務局案のとおり決定する。 報告事項① 協議会設置の趣旨等 【事務局説明】 ● 資料3に基づき報告 【意見、質疑等】

- ◎ 事務局の説明に対して質疑等はあるか。
- 質疑なし

報告事項② 地区のまちづくりの方向性

報告事項③ 地区の現況

【事務局説明】

- 資料４～５に基づき報告

【意見、質疑等】

- ◎ 事務局の説明に対して質疑等はあるか。
- 質疑なし

議題③ まちづくりに対する意見（期待、不安、留意点等）

- 意見交換については、中立かつ公平な進行で議論が進められるよう、ファシリテーター（進行役）を株式会社フジヤマに委託している。ここからの進行は株式会社フジヤマが行う。

- 現況等について事務局より説明があったが、今日は現時点で皆さんがどう思っているかお聞きしたい。普段どのように生活をしているか、良いところ、不便なところなど率直な意見をお願いしたい。

- MMシャトルで玉川上水駅まで出て、そこから電車に乗り換えて通勤しているが、このMMシャトルは既にＮｏ．２駅の予定地のすぐ脇を通っているため、Ｎｏ．２駅ができて玉川上水駅に出て通勤するという今の生活スタイルはあまり変わらないと思う。

立川方面へ出る路線バスもあるが、渋滞の影響を受けやすい。その点、玉川上水駅方面へ向かう経路は比較的渋滞しにくいいため、助かっている。MMシャトルは朝夕と日中時、平日と土日で経路が異なるため、乗りたい時に乗れないことが不便に感じている。

- 本市では出かける際に車が必要であるため、こちらに来て子育てをするようになってから免許を取り、それ以降は車で移動している。立川へ行く際は、上北台駅まで自転車で行き、モノレールに乗りしていたが、最近は上北台駅の駐輪場が満車で停められないことが増えたため、団地西バス停から立川方面行のバスを使うようになった。

この地域は高齢の方の買い物に不便だと思う。私は昔から生協の宅配を利用している。

- 私自身は自転車や徒歩で買い物に行けるが、高齢者にとっては不便だと思う。Ｎｏ．２駅の周辺には交通機関がなく、MMシャトルはあるものの、買い物の目的地とは異なる方向に行ってしまうため、使いにくく不便に感じている。

また、この地域は道が非常に凸凹しているため、歩くとつまずきやすく、自転車も走りにくいと感じる。

- この地域の方が普段どのように日常の買い物をしているのか伺いたい。

◎ 子どもがまだ小さいので、休みの日に市内の大型商業施設に行って買い物をしたりしている。近くにあったスーパーが閉店してしまったため、近くに店がない。一方、武蔵村山に住んでいる方は基本的に車を持っていて、移動先にも駐車場があるため、住んでみると意外と不便は感じていない。

○ 店舗だけでなく、市民農園や無人販売を利用する人が多い。
大きなスーパーを立地させるよりも、既存の畑を生かし、ブルーベリー摘みや落花生掘りなど子どもが体験できる観光農園が増えるとよい。あわせて、収穫した農産物をその場で味わえる場があるとよい。

また、利用されていない畑を活用して農作物を生産し、地域内で販売できるとよい。農家にも様々な事情があるので、その支援ができればと思う。

■ 体験農園を実施されている委員に状況を伺いたい。

○ 体験農園では、利用者一人につき1区画を割り当て、3月頃から翌年1月末まで、いつ何を植え、いつ収穫して次を植えるかを決めて運営している。市内に体験農園が3箇所あるが1箇所は現在募集を停止している。車で畑まで来ることができないため、利用者は主に自転車で訪れている。加えて、市から補助金はあるものの、肥料、種、苗、水道代などの経費も必要となる。それでも、募集するたびに抽選となり、毎回20～30人は落選するくらい需要がある。

利用されていない畑を生かすという意見については、農家も後継者不足であり、年配の方が人に教えるのは難しいという事情もある。農作物を作るのではなく、収穫だけを行う「収穫体験」であれば広げられるのではないか。一中付近で収穫体験ができる畑が新たにできている。

武蔵小金井駅は駅近傍に収穫体験のできる畑があり、今後本市においても、モノレールの駅ができた際、駅近傍に畑があれば、小金井市のように市外から電車で収穫体験に来る方も期待できる。

■ 病院や大学で働く方や利用者の方が、普段どのような経路で施設に来訪し、どこで買い物をしているのかを伺いたい。

○ 村山医療センターの職員は車で通勤する人が多い。一方で、都心部に住む医師は上北台駅から自転車に来るなど苦労している。交通の便が良くなるとありがたい。

交通の便が最も関係するのは患者である。現在、患者の多くは車で来院している。一方、当院には全国から患者が訪れるため、特に九州や東北などの遠方から来院する方は、公共交通によるアクセスに苦労している。また、ご家族が立川市内のホテルに宿泊して面会に訪れる場合も、病院へのアクセスが悪く、移動しにくい状況にある。

○ 勤務者は車通勤が多い。

武蔵村山キャンパスは体育施設として活用しており、学生は国分寺キャンパスとの間を1日5～6便のバスで往復し、部活動等を行っている。現在本学には約6,000人の生徒がいるが授業後に利用する生徒や授業の空きコマで活動する生徒もおり、利用時間は

それぞれである。活動後は付近に食事処等がないため、また国分寺へ帰ってしまう。駅ができれば、周辺に店舗も増え、土日等に本学の生徒や他校の生徒も立ち寄り、買い物や飲食を行うのにぎわいが生まれるのではないかと。

■ 事務局から現況に関するデータの説明があったが、共感する部分や感覚と違う部分はあるか。

○ No. 2 駅の周りにスーパー等の店舗がほとんどない。市内には大型の商業施設やスーパー等はあるが、徒歩圏内の店舗が不足している。駅ができる、できないに関わらず、スーパーは欲しい。

○ 駅予定地から離れたところに住んでおり、最寄りの店舗までも距離がある。路線バスは1時間に1本程度であり、循環バスもこちらまで来ないため、とても不便である。将来、運転免許を返納することを考えると、車がないと住み続けることが難しい。周辺には高齢者が多く、皆苦勞している。

○ 新青梅街道沿いは都心方面から連続して店舗が立地しているにもかかわらず、武蔵村山郵便局から大型商業施設付近までの区間が何もない。以前は様々な店舗が立地していたが、なぜあの辺りだけ何もないままなのか気になっている。

● モノレール延伸に先行して、新青梅街道を幅員30メートルに拡幅する事業が進んでいる。当該エリアは用地取得が遅かったため、建物の除却が進み更地になっている段階であるが、今後テナントが進出すると見込んでいる。

現在は用途地域の関係で沿道30メートル程度までしか商業施設が立地できないため、今回こうしたエリアの土地利用を協議会の意見を伺い見直していく必要があると考えている。

○ 新青梅街道沿いはチェーン店が多く建っているが、商工会としてはチェーン店よりも地元の商店が盛り上がってほしい。No. 2 駅は地元の人を使う駅だと思うので、地元の人が帰ってきて地域の商店で買い物をするような、生活のハブになる駅になるとよい。商業的には大きな店やスーパーも便利だが、地域の商店街との継続的なつながりも生まれるとよい。

また、子どもが高校生の頃は自転車で上北台駅や武蔵砂川駅まで行き通学しており、雨が降れば迎えが必要だった。No. 2 駅周辺は若い夫婦の家庭が多く、小さい子どもも多いため、駅ができる頃には通勤・通学に使う方がかなり増えるだろう。駅ができれば進学先や就職先の選択肢も広がるので、自転車も含めた通勤・通学のための整備をしてほしい。

■ この地域にどのような施設・店ができるとよいか伺いたい。

○ 農産物の直売所を駅の直近に設ければ、通勤帰りに買えるようになると思う。また、学生が多く来るのであれば、駅周辺で自習ができる場所や、地域の大学生が小学生に勉強を教えるような、学習・交流拠点があるとよい。

○ 緑を増やし、食育にも考慮したい。農産物を生かした、家庭菜

園等でできた地元作物を持ち込めるような道の駅ができるとよい。モノレールから畑や緑が見え、あわせて商店も少しあるとよい。

- まちづくりの方向性について、立地適正化計画の都市機能誘導区域を見ると、No. 2 駅周辺の区域は15.3ヘクタールとあるが、その半分近くが村山医療センターの敷地である。居住者が多いのは主に北側になると考えられるが、その北側の誘導区域が狭すぎるのではないか。この区域を見直す予定はあるか。

- 都市機能誘導区域は法で制限された区域ではなく、この区域に都市機能を集めたいという市の考えに基づいて設定している。当初はもっと広く取りたかったが、道路などの地形地物で区切る必要があるため、駅から300m程度に集約しようと検討した結果、今の範囲となった。

中砂新道から20mの範囲は第一種中高層住居専用地域であるため、現状でも小規模な商業施設等は建築可能となっている。一方、その周辺には住宅地が広がっており、都市機能誘導区域を大幅に拡大すると、現在の住環境に影響を及ぼす懸念がある。このため、現時点ではこの範囲を都市機能誘導区域として設定している。

範囲の見直しは制度としては可能であるが、集約が目的の区域であるため、広げるにはそれに見合う人口密度等の理由が必要となる。今後、改定時期等に市民の意見を伺い検討したい。

- 武蔵村山市は骨粗鬆症の検診受診率が低い。胃がん検診等は全国で6割程度が受けるが、骨粗鬆症検診は全国でも十数パーセント、武蔵村山市は約8パーセントである。健康もまちづくりの方針に位置付けられているため、健康寿命を延ばすというテーマで取り組めるとよい。

当院でも理学療法士6人がピラティスの資格を取得し、今後周辺地域の方に向けた教室を開催しようと考えている。国立駅南側にある障害者リハビリテーションセンターのような、きれいなプールや車椅子でスポーツができる施設が近くにできるとよい。簡単ではないが、高齢者が多いNo. 2 駅周辺で、健康寿命を見据えた取組を進めたい。

- 現在は本学のキャンパスはどの駅からも歩いて行ける環境にないが、駅ができれば大学の施設も広く活用されると思う。

施設を利用する前後に食事ができるよう、駅周辺や駅からの道に立ち寄れる飲食店があるとよい。

- 観光の視点で伺いたい。No. 2 駅は、モノレール開業後に外から観光客が来るイメージか、住民や既存施設の利用者中心の駅か。

- 基本的には今住んでいる人が使いやすい駅になると良い。一方、駅周辺には村山医療センターがあり、来院者に対してもいい影響があるだろう。また、先程話に出たような村山医療センターで行っている取組の情報が伝わっていないため、住民向けにも発信してもらいたい。

そのほか、自転車置き場が大きな課題である。上北台駅の駐輪場が満車のため、玉川上水駅まで行って停めることもある。駅へ

のアクセス性を高めるためには、各駅に駐輪場が必須だと思う。

- 玉川上水駅は、北側の東大和市域が有料、南側の立川市側が無料であるため、不公平感を少し感じる。また、妻がモノレールを使っているため、雨の日は桜街道駅に迎えに行くが、ロータリーがないため路上駐車になってしまう。N o. 2 駅を作る際も、送迎車が一時的に停車できる程度のスペースを確保してほしい。

- 駐輪場は、N o. 1 駅及びN o. 3 駅は用地を確保できているが、N o. 2、4、5 駅は用地が確保できていない。有償・無償は用地取得後の整備次第だが、有償になることも考えられる。無償にするか有償にするか、有償であっても市内・市外で料金を分けるかなど今後検討が必要である。

車寄せについて、既存駅のある芋窪街道沿いには、駅舎下に停められるスペースがある。しかし、今回の延伸区間の新青梅街道は交通量が芋窪街道の倍近くあり、渋滞が生じることから、交通管理者の許可が下りないと聞いている。そのため南北方向の道路に車寄せ等を設けたいが、地権者との調整や、バスの運行経路や乗り入れ方法等公共交通を所管する部署とも相談しつつ検討したい。

- 医療センターに来院される患者は、車椅子や松葉杖の方が多いため、雨が降ると通院が非常に困難である。理想は、駅から病院までの道に屋根があるとよい。

- 駅から病院まで同じ高さで移動できると良い。

- 駅から降りる際は昇降機があれば車椅子でも問題ないが、病院までの道のりに段差があるため、車椅子や松葉杖はつらい。現在当院の入口は南側だが、モノレール駅ができるなら北側にも入口を設けることを計画している。

- 駅ができることに対しての期待や不安について伺いたい。

- 用途地域の変更が数年のうちにできると良い。

- 以前住んでいたまちは、再開発で高層ビルが建ち、特徴のないまちになってしまった。同じようにならないよう、地元の特徴を生かした駅になってほしい。便利さとは別に、魅力がなくなると住みたくなくなる。今は魅力ある地域だと思うので、その魅力を結び付けられる施設や空間を駅前に作れるとよい。

- 現状不安が2点ある。一つはN o. 2 駅周辺は、テナントがすぐに入るような立地とは言えない点である。店舗の閉店後に次のテナントが入らず、店がない状態が続くと、住民や病院、大学など目的があって来る人以外は、誰も来ない駅になってしまいかねない。周囲に立ち寄りたくなる場所が少なく、ただの通過駅になってしまわないか心配である。

もう一つ不安な点として、村山医療センターが地域医療を支える重要な施設である一方、多くの方が治療や通院などを目的として利用する場所でもあるため、駅名との結び付きについては慎重な検討が必要ではないかという点である。周辺の商業機能の状況などと相まって、来訪先としての魅力や親しみやすさに影響を及

	ぼすことがないか、また将来的な地域イメージにも配慮が必要ではないか。 ○ だからこそ、健康を維持し、健康寿命を延ばすための施設が必要である。病院は病気を治すだけでなく、健康を取り戻し、維持する施設になっていくべきだと考えている。当院も年1回、武蔵村山病院・市役所・東大和病院と合同で市民に骨粗鬆症検診等を提供しており、ピラティスなども今後大切な取組となる。 ○ そうした健康の維持・増進を支える施設を病院以外にも広げれば、イメージが良くなっていくと思う。No. 3駅は施設が集まり魅力的になると思うが、No. 2駅は周辺に施設が少ないところからのスタートであるため、慎重に考えなければならない。 ○ 武蔵村山病院の近くには大型商業施設があり、見舞い品を購入して病院に行くという流れができる。村山医療センターの周辺は商業施設がないため、便利な店がほしい。 ○ 少し話は変わるが、No. 2駅周辺のよいところとして、区域の北側から富士山が非常にきれいに見えることが挙げられる。昭和記念公園の花火や横田基地の花火も見える。ここでモノレールができると、15メートルほどの高さを走るため、高い所から花火や富士山がよく見えると期待している。モノレールに限らず、周辺の高い場所からの眺望もきれいである。モノレールにより新青梅街道の北側が日陰になる心配もあるが、年配の方々は「高い所から見たら最高だ」と話している。 ○ やはり道の駅ができるとよいと思う。駐輪場のために農地がなくなる不安もあるが、モノレールから多くの緑を見ることができ、村山のみかん、ぶどう、梨などの作物、地元の野菜を使った惣菜やお菓子が道の駅に集まり、そこで土産やお見舞いの花を買って村山医療センターに行けるとよい。 報告事項④ その他 ● 次回は10月3日を候補日として調整する。場所は市民総合センターの3階で開催する予定である。 また、年内の協議会開催日程に関しては、会場確保の観点から毎月第一土曜日を候補としたいと考えている。 本日の結果は「開催概要」としてHPに掲載し、委員の皆様には事前にメールで通知する。 お手元にご意見提出用紙を配布しているため、言い残したこと等があれば記載していただくか、メールでお知らせいただきたい。
--	--

会議の公開・非公開の別	■公開 □一部公開 □非公開 傍聴者： 3 人 ※一部公開又は非公開とした理由 ()
-------------	---

会議録の開示・ 非開示の別	■開示 □一部開示(根拠法令等：) □非開示(根拠法令等：)
庶務担当課	都市整備部 沿線まちづくり課 (内線： 279)

(日本産業規格A列4番)